

石狩市浜益区
地域協議会広報



浜地協だより

《発行》浜益区
地域協議会事務局
〈支所地域振興課〉
Tel 79-2029
Fax 79-3702
[H19.11 VOL.19]

**新メンバーで
第2期スタート!!**

合

併に伴い新設された「浜益区地域協議会」は、9月末をもって第1期2年間の委員任期満了を迎え、10月より新たなメンバーも加わり、第1期同様、公共的団体が推薦する者10名、識見を有する者2名、公募に応じた者3名の総勢15名で2期目の活動をスタートしました。

地域の提案やアイデア(地域意見)を取りまとめ、そして検討し、浜益区(地域自治区)の意見として市政に適切に反映されるよう活動を続けていきます。

第2期目の地域協議会委員の皆さんをご紹介します。

【支所産業振興課からのお知らせ】緊急修繕のため浜益温泉は臨時休業中です。現在、再開は未定ですが決まり次第お知らせします。ご迷惑をおかけしますがご理解とご協力を。

浜益区地域協議会委員名簿 [第2期]

任期 平成19年10月1日 ~ 平成21年9月30日
敬称略

公共的団体が推薦する者【1号委員】<10名>

| | | | | |
|---|---|---|---|--|
|  |  |  |  |  |
| 中村 東伍 石狩湾漁業協同組合 〈毘砂別・新任〉 | 北村 文子 北石狩農業協同組合 〈川下・新任〉 | 後藤 崇 北石狩農業協同組合 〈柏木・再任〉 | 羽山 勇一 浜益区自治会連合会 〈柏木・再任〉 | 神田 一昭 浜益区自治会連合会 〈幌・新任〉 |
|  |  |  |  |  |
| 石橋ミツ子 浜益自治婦人連絡協議会 〈柏木・再任〉 | 岸本 アイ 浜益自治婦人連絡協議会 〈柏木・再任〉 | 岸本 教範 (財)石狩観光協会 〈柏木・再任〉 | 渡邊 千秋 石狩北商工会 〈幌・新任〉 | 菊地 政雄 石狩湾漁業協同組合 〈幌・新任〉 |

公募に応じた者【3号委員】<3名> 識見を有する者【2号委員】<2名>

| | | | | |
|---|---|---|---|--|
|  |  |  |  |  |
| 寺山 広司 〈柏木・再任〉 | 佐々木茂雄 〈実田・新任〉 | 木村 武彦 〈幌・再任〉 | 田中 照子 〈浜益・再任〉 | 三浦 信悦 〈柏木・新任〉 |

「浜地協だより」は、地域協議会で話し合われた事柄や活動内容をみなさんにお伝えするため、定期的に発行していきます。

地域協議会を傍聴しよう!!
地域協議会(会議)はどなたでも傍聴できます。お誘い合わせのうえ、是非、一度傍聴してみませんか。詳しくは事務局までお問い合わせください。

H19 第5回 浜益区地域協議会

【とき】H19.10.26(金)16:00～17:10
 【ところ】支所 庁議室
 【委員】<出席>8名 <欠席>7名
 【傍聴】1名
 【主な内容】
 委嘱状交付
 市長あいさつ
 担当職員・委員紹介
 会長及び副会長の選任
 第1期の取り組み状況 [報告]

新

たな委員を迎えて初となる平成19年度第5回浜益区地域協議会は、10月26日(金)、8名の委員が出席し、支所庁議室で開催されました。

当日は、15時00分からの事前会議で地域自治区、地域協議会の概要説明を受けた後、協議会に臨みまし

た。冒頭、委嘱状の交付後、田岡市長より挨拶を受け、委員としての決意を新たにしました。

その後、宮田区長より本庁、支所の担当職員が紹介され、さらには各委員が自己紹介した後、会長及び副会長を互選し、最後に事務局より第1期の取り組み状況について報告を受け、初の顔合わせとなる協議会を終了しました。



H19 第5回浜益区地域協議会の様子

市長あいさつ



石狩市長 田岡 克介

皆

さんこんにちは。既に協議会について事前会議でお話があったと聞いておりますが、合併以後、様々な地域の活性化、振興という意味で、旧自治体の地域特性が出来るだけ失われなように、逆に地域価値を高めていくことこそ必要だという発想がありました。それは国においてもそうでありまして、法で地域自治区という制度を設けて、これを合併にあたっての協議会の条件となつた訳です。実際、第1回目の2年間の協議にあたりまして、私その時にも申し上げたので

ですが、協議会のなかで一番やってほしいこと、協議会の形は市役所が出す資料を承認の形で協議するということだけは、是非やめて頂きたい。むしろ役所はそのようなリードを往々にしては、むしろそのように厳しく反論して頂ければというお話をしたほど、地域自治区は自立性ということについて強調させて頂きました。

議会では、支所にもつと緩やかな自由な予算を配分せよという議論が出たり、地域自治区の自立性というものが必ずしも当初の予定どおりとなつてない、手取り足取り、本庁ないしは市役所、市長が規制を加えているのではないかと、多くの議論もあつたように、一方で、本所における地域自治区がなかなか具休案に踏み込めない、お互いプランニングに至っていない、これはどうしても見ようがないことです。本州先府県において合併の初期段階においては理念と現実に配慮するというのが、大体どの自治体でも歩んできた道であります。ちょうど私も合併して過去のことになりましたが、今、江別市と新篠津村が合併協議をしており、まさに私達が歩んだ道を歩んでいるように、恐らくこの合併というのには決まった方程式がないだけに、百様のやり方があるのだと思っております。この地域協議会というのには、そういう意味ではこれからのようには、そういう段階に入ってきているのではないかと思っております。これまで様々な取り組みのご議論がまさに肥やしとなつて具現化するという段階に入ってきておられると思っております。また、地域協議会そのものを選択した市長としての立場から申し上げるならば、その時期構成というものをこの期限において、皆様方に今日お渡しさせて頂きました委嘱状の理念において、仮に議論が議論のままで終わつたとするならば、やはりそれは市長のミスリードだとなつたわけであり、適切な支援が為し得なくなつたと取らざるを得ないと思っております。ある意味ではここに至つて不転の覚悟で、協議会からの具現性というものを期待するという状況にあります。

合併後において、合併の検証というものをマスコミは今、盛んにやっております。

それは近く第2次の合併が一斉に起こる機運に今なつてきております。1次の時にはまだまだ財政というものが、北海道の先行きを見据えていない段階で、北海道の土地の広さとその利便性の不都合さだけが合併というものが、平成15年と平成19年の財政環境を比較する時に、多くの町が三十数%の交付税のカットという状況に至りました。あの時に奈井江を中心とした中空知の一部は広域連合というものを試行致しました。しかし今、奈井江を中心とした2市3町による合併はもう避けて通れない市3町による合併は、周知状況も大変厳しくなつてきておりますが、その中であつて、この石狩、厚田、浜益の合併が一つの北海道のモデルになつていくことは間違いありません。その中で、地域自治区というものがどう活躍されていくかというところが非常に注目の的になつていくだけに、各マスコミは今、この石狩、厚田、浜益の動向を大変気にして取材に入っております。近々また新聞に載ると思っております。私共はメディアを気にしないという訳にはいかないと思っております。従いまして、これから一つ一つがマスコミにさらされるのだということも、これまでの2年間と些か違うのではないかと思っております。私も、私自信も積極的に協議会の中身をメディアに出していくことが必要だと思っております。協議のプロセスを開示することが非常に必要なのだと、それをやらなければならない地域の方々は、来ません。問題意識を持たないということもよく分かつているつもりであり、まず、この中だけで議論するのではなく、地域全体が議論するのには、論の参加者になつていかなければならないと思っております。そしてそこに具象案というものを纏めていかなければならない。その具象案に対しては、確実な財源の確保というものを私共は約束をしていかなければならないと思っております。

一番やってはいけないことを言わせて貰いますと、ちりちり、ちりちりとこの1億のお金を、この事業に30万、この事業に50万、この事業に1040万と使っていくと、1億というお金は1040万と使っていく

くなくなつてしまします。その時に何が残るかというお金の使い方だけは、絶対にしなくては行けないと思います。逆にこの事業に2千万、5千万という投資をして、その年の政策目標に確実に達することができるといふ事業にこそ使つべきだと思つておりますので、欲しいものの財源にその財源を充てては行けないということですが、それは通常の予算要求の財源を使うべきであつて、地域振興資金である基金というものは、地域が必ずその見返りを享受できる事業でなくてはならないというので、基本線だと思つておりますので、そのことを是非、改めてもう一回このスタートするにあたりまして皆さんにお願いを申し上げて、地域が今後活性化されることを大いに期待をします。

【浜益生涯学習課からのお知らせ】11月1日(日)は市民文化祭(浜益会場：きらり)が開催されます。舞台発表、展示発表など多数。お問い合わせのうえご来場を。】

ことで計画が上がりました。これは最終的な計画の責任者は私でございますから、出来上がった計画そのものにもとより責任を持つ立場にありますが、議論の経過の中において、この適沢のコミュニティセンターが極めて利用度が低いということとを事務方の口実にさせてはならない。何とか利用度を上げる。そして他の利用用途をもつと考へていかななくてはならないのではないか。立派な施設があることが地域の誇りではなく、立派な施設を立派に使うことが地域の誇りではないか。支所の方に市職員の何人も何人もこの問題を問ひかけました。しかし、1年間経つた結果、そこに対して殆ど声が上がらず、私は週に1回使われている適沢のセンターが、あそここのセンターでなくてはならないと、そこしか使えないのだという理由をどうしても職員や支所から聴くことが出来なかつたです。地域協議会はその問題に本當にきちつと答えを出したのだらうかということも含めると、まだまだ来年の4月からスタートする予算に対して、書いた紙はいつても変えられますし、いいことであれば変えることが出来ません。マイナスであれば変えることが出来ませんが、市長こういふ話だつたらどうなのだろうと持ち込んできた時に、私は決して計画にのつて廃止することになつてはいるから廃止するとは言いません。ただ、何もしなくて、何も使わないで、今のままで残せと言つてもそれは行政の投資効率があまり悪すぎると言わざるを得ないと思ひます。これらも含めて、地域に残つて無価値化している財産をどう有価値化するかということもやはり必要な議論ではないか。市の新しいセクシヨンに2人職員を座らせて頂きました。フアンシリテイマネジメントと言ひました。もう価値がないとされている施設、あるいはものを、調べてみると価値があるということ。例へて言うならば、この支所の空間スペース、黙つていたなら恐らくこのまま何も使わないのではなからうか。ところがみんなこの空間を何かに使えないかというふうにして使つたとしたら、そこに新しい価値が。庁舎だから庁舎にしか使えないというところを一つ一つ考へていひます。適沢のコミュニティセンターについで、

本當にもう一回、真からその活用度というものを考へるべきじゃないかと思ひます。その中で、出来上がった財政再建計画そのものに全く逆作用の発言をさせて頂いて恐縮には存じますが、是非それらも含めて、地域協議会が活発な積極的なそして地域の生き残りをかけて、しっかりと議論をやつて頂けるようお願いを申し上げます。そして、そのためでしたら私共は何回でも足を運ばせて頂きますので、是非、市役所が持つて頂いて、支所が持つて頂いて頂いて頂いて頂いて頂ければと思ひます。今日は本當に忙しいところお集まり頂きました。また、難しい問題を皆さんに課すことに対して誠に恐縮ですが、これからもどうぞ宜しくお願い致します。どうも有り難うございました。

会長及び副会長の選任

会 長に

神田一昭氏(幌)

副会長には

岸本教範氏(柏木)

がそれぞれ選出されました。

会長あいさつ



会長 神田一昭

そ れでは一言ご挨拶申し上げます。只今、会長に選任頂きました神田でございます。よろしくお願ひいたします。

浜益区地域協議会も合併後設置されてから2年経過し、地域協議会の役割であります地域の意見の取りまとめ、住民との協働の推進、特色ある地域づくりの推進を基に地域協議会、地域住民、浜益支所と一体となつて、浜益区の活性化のため地域振興に取り組んでいかなければならないと思ひます。奇しくも私事でございますが、2年前の合併の時、合併協議会に浜益村議会から委員として選出された経過がございます。その時のひとつに地域自治組織の部会があり、その委員として出席しておりまして、その部会で、合併特例法による地域自治区と地域協議会が必要だと強く主張した経緯がございます。そして、合併協議会におきましても委員の皆さん方の理解を得て、旧浜益村、厚田村に自治区を設けてもらうことができた安心しておりましたけれども、今日、私がその地域協議会の委員として推薦があるのかと思つております。先程、この地域協議会のあり方について、田岡市長より色々とお話を聴いて、とにかく、今後2年間、我々は地域自治区の発展のために本當に頑張らなければならぬと感じ、行政に全てを委ねることは、もつ今の時代では通用しないということをは肝に銘じて、委員の皆さん方と共に浜益区の発展のためにはどうあるべきかということ考へ、そして少しでも良い意見があれば、それを宮田区長の方に提言し、そして地域協議会と支所が一緒になつて頑張つていきたいと思ひます。

岸本副会長をはじめ委員の皆さんと力を合わせて、浜益区の発展のために微力を尽くして参りたいと思ひております。簡単ですけれども挨拶に代えさせていただきます。よろしくお願ひいたします。

以上

就任の「あいさつ」 区民のために



浜益区長
宮田 勉

10月1日付けで浜益区長を拝命いたしました。

市を取り巻く厳しい環境と、合併後の浜益区の状態を考えたとき、区民のために微力を尽くすべきと考え、重責をお引き受けすることいたしました。

最近、特に感じるのは、今、強力に推し進められております、市の聖域なき改革が、合併後実現を見た新しいバス運行システムや、今年度完成しようとしている火葬場、そして地域活性化のための各種イベントなどの事業効果を超えて、区民の不安となつて漂っていることであります。

将来に「つけ」や禍根を残さないために、市の現状をしつかりと区民へ説明することが重要であります。そのうえで、区民の要求を一つ一つ実現し、合併してよかったと実感してもらえよう努力していかねければなりません。

いつも子どもたちの笑い声が聞こえ、若者がいきいきと汗をかいて働き、お年寄りが安心して毎日を過ごす。こんな、元気で思いやりのある浜益区にしていきたいと考えております。

職員と心と力を結集して、「区民のために、小さくてもよく働く支所」を目指してまいります。

みなさまのご理解とご支援を心からお願いたします。

浜益支所編

新顔紹介...
浜益支所に着任しました!!

| | | |
|--|------------------|--------------------|
| | くどう やすお 工藤 泰雄 | ふり なが 氏 名 |
| | 札幌市 [柏木] | 出身地 [浜益区での住所] |
| | 支所部長 | 職名 |
| | 旅行 妻・子1 | 趣味または特技 家族の紹介 |

平成19年度
着任職員
の紹介

自己PR

10月1日付けで浜益支所の部長として着任いたしました。浜益地域自治区（浜益区）の皆様と共に考え、住民（区民）の意思を反映した、特色のある地域を創り上げ、石狩市全域に地域自治区ができるように、浜益区が先駆者となるよう努力して参りたいと考えております。是非皆様のご協力をお願いいたします。

およろこび

| 氏名 | 生まれた日 | 父 | 母 | 住所 |
|-----------------|-----------|-----|-----|----|
| みなの 笹 湊翔くん | H19.10.11 | 雄一郎 | 亜裕美 | 柏木 |
| ゆうさく 高村 友朔くん | H19.10.15 | 智宏 | 真奈美 | 川下 |

おくやみ

| 氏名 | 死亡年月日 | 年齢 | 住所 |
|----------|-----------|----|-----|
| 栗生 二三 さん | H19.9.26 | 81 | 群別 |
| 向井 弘 さん | H19.10.4 | 88 | 浜益 |
| 中野 花 さん | H19.10.14 | 85 | 川下 |
| 竹谷 哲子 さん | H19.10.16 | 70 | 毘砂別 |
| 菅原 トメ さん | H19.10.18 | 93 | 柏木 |
| 小里 京子 さん | H19.10.22 | 86 | 幌 |

浜益区の人口・世帯数 (平成19年9月末現在)

| | | |
|-----|------------|--------|
| 人口 | [61,404] | <+53> |
| | 1,955 人 | < - 8> |
| 男 | [29,881] | <+34> |
| | 919 人 | < - 1> |
| 女 | [31,523] | <+19> |
| | 1,036 人 | < - 7> |
| 世帯数 | [25,507] | <+43> |
| | 988 戸 | < ± 0> |

上段の [] は石狩市全体
< > は対前月

浜益温泉臨時休業のお知らせ (お詫び)

たいへんご迷惑をおかけしておりますが、浜益温泉は、浴室天井部の内装材の一部が落下し、緊急修繕のため、臨時休業しております。

現在、営業再開に向け、急ピッチで修繕工事を進めておりますが、再開は未定となっております。

営業再開が決まりましたら、皆さんに回覧等でお知らせしますので、もう少しお待ちください。ご理解とご協力をお願いします。

お問い合わせ
浜益支所産業振興課 79-2047

石狩市民 文化祭

浜益会場

11月1日(日) 会場/浜益コミセン「きりり」

- 【舞台部門】10:00~15:00
内容/太鼓、民謡、舞踊、カラオケ、ダンス、三味線、演劇など
- 【展示部門】9:30~15:00
内容/写真、陶芸、パッチワーク、草木染、スタンドグラスなど
- 読み聞かせ(ひまわりの会) 茶道愛好会のお茶席
青年会による出店(バザー) など

会場までの送迎バスを運行しますのでご利用ください

【支所地域振興課からのお知らせ】これからの時期は路面への積雪が予想されます。スクールバス運行の支障となる路上駐車は避けるようご協力をお願いします。